

じんけん
ちよと知ろっ 得

人権週間って
なんだろう？

人権週間



「人権」ってなんだか難しい言葉だけれど、どんな意味だろう？

人権週間(12月4日～12月10日)とは？

毎年12月4日～10日を、人権週間と言います。

1948年(昭和23年)12月10日、「世界人権宣言」が国連総会で採択されたのを記念し、1950年(昭和25年)の国連総会で12月10日を人権デーと定めるとともに、全ての加盟国に実施を呼びかけました。

日本では世界人権宣言採択の翌年の1949年(昭和24年)、法務省と全国人権擁護委員連合会が、12月4～10日までの一週間を「人権週間」と決めました。

12月10日は、日本だけでなく世界の各国々でも「人権」について考える日になっています。

「人権」ってなんだろう？

「人権」とは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のことで、すべての人が思い合う心によって守らなければならないものです。

みんながみんな違うように、全部が同じ人なんて誰もいません。「人権」は難しいものではなく、誰でも、心で理解して感じることができます。一人ひとりの違いを認めたり、自分や相手の良いところを見つけて、それぞれが大切な存在であることを再確認する、大切な一週間です。

部落問題



外国人の人権



LGBT



女性の人権



子どもの人権



高齢者の人権



インターネットと人権



「人権週間」を機に振り返ってみよう

日々の生活で、無意識のうちに「偏見」でものを見ていることはありませんか？偏見とは、かたよった判断や意見のことを指します。人は何かを判断する時に今までの経験などから自分の中に作られたものさしを使いますが、自分では疑いもなく使っているものさしの基準が間違っていることもあります。

「男のくせに・・・」「血液型のO型は・・・」「外国人だから・・・」など、ひとくりにした考え方も思い込みや偏見につながります。

人と適切な人間関係を築いていくためには、はじめから何かを決めつけるのではなく、一人ひとりが持つ多様な「個性」＝その人自身を見つけだし、それを認めていくことが大切になってきます。

また、職場における人権問題では、「無知」「無自覚」「無意識」の下に、静かに進行している場合があります。12月4日～10日の「人権週間」を機に、職場で行われているマネジメントについて振り返ってみませんか？



さまざまな人権



障害者の人権

認め合う 思い合う

自分らしく あなたらしく生きるために